

花園地域と学校の紹介

更新日:2025.4.10

梁瀬小学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。
ございます。

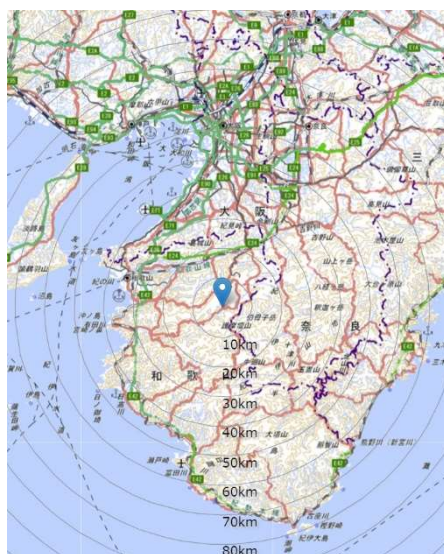
本校のある和歌山県伊都郡かつらぎ町の花園地区（旧花園村）は、霊峰高野山の南麓に位置し、北は高野町、東は奈良県野迫川村、南西は紀美野町と有田川町にそれぞれ接しています。

旧花園村の総面積47.44km²のうちの95%が山林で、地区全体が杉や檜の美林におおわれています。

標高320m から1180m の峡谷に囲まれた山村で、40度以上の急傾斜地が80%をしめる急峻な地形となっています。有田川が地区内を東西に流れ、その流域の比較的平坦な土地や山腹に集落や公共施設が集まっており、棚田も残っています。鮎やあまご釣り、またキャンプ場に多くの人が訪れます。

旧花園村の歴史は古く、約1200年の昔、弘法大師（空海）の高野山開創とともにその弟子たちによって拓かれ、その寺領として高野山の寺院に花を奉献する土地であったところから起こったと伝えられています。

明治22年4月に旧花園村が誕生し、豊かな山村として育ってきましたが、昭和28年7月18日の紀州大水害により、壊滅的な大打撃を受けました。しかし災害救援活動や村民みなのかにより復興を遂げました。また、平成17年10月1日に花園村とかつらぎ町が合併し、現在に至っています。



本校はかつらぎ町役場花園支所がある梁瀬地区にあり、保護者、地域住民は教育に熱心で、学校の活動に多くの協力をいただいています。運動会は、幼稚園・小学校（中学校は平成21年度まで）（幼稚園は令和6年度より休園）合同で行っており、地域の行事として根付いています。

少子化や高齢化が急速に進んでおり、本校も平成24年度に1年間休校しています。近年は10人に満たない児童数ですが、地域に支えられ地域とともに歩む学校として、保護者のみならず地域の方々からも大切にいただき、また期待の声が寄せられています。

子どもたちは、自然環境に恵まれた家庭的な雰囲気の中で、温和で仲良く元気いっぱいに活動しています。純真素朴で、また、何事にもまじめにこつこつと取り組んでいます。

学 校 沿 革

明治13年 5月 1日

梁瀬字中越遍照寺を仮用、簡易授業をなす

明治29年 7月

移設、梁瀬字敷地丹生神社の拝殿をもって教室となす

明治30年 1月

尋常科と変更

明治40年 7月 8日

梁瀬尋常小学校に高等科二学年を加え梁瀬尋常高等小学校と改称

大正 5年

校舎増築

昭和16年 4月 1日

梁瀬国民学校と改称する

昭和37年 6月 8日

新校舎竣工

昭和39年 4月

花園小学校を統合する

昭和56年10月10日

花園村立梁瀬小学校 百周年記念式典

平成17年10月 1日

町村合併に伴い、かつらぎ町立梁瀬小学校と改称する

平成24年 4月 1日

在籍児童が不在となり、休校となる

平成25年 4月 1日

新入生と転校生があり、学校が再開する

平成30年11月30日

第68回県へき地複式教育研究大会分科会を開催する

令和 元年12月14日

第23回和歌山県花いっぱいコンクール学校の部で最優秀賞及び和歌山県知事賞を受賞

令和 2・3・4年度

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行 修学旅行は県内紀南方面に

令和 6年 4月 1日

併設の花園幼稚園が休園となる

教育目標と基本方針

(1) 教育目標

知・徳・体のバランスのとれた児童の育成

(2) 基本方針

花園地区・梁瀬小学校の歴史と伝統をふまえ、地域に根ざした教育活動を推進し、学校・家庭・地域の連携のもと、魅力のある学校づくりに努め、新しい時代に求められる資質能力を身につけた子どもたちを育む。

【めざす児童像】

- 楽しみながら学び、考え、表現・行動できる児童
- 感性豊かで思いやりのある児童
- 心身ともにたくましく、最後までやりきる児童

【めざす学校像】

- 明るく、楽しく、元気な学校
- 園児・児童・職員が一体となって、個々の伸長をめざす学校
- 保護者・地域から信頼される安全安心な学校

【めざす教師像】

- 子どもや保護者の気持ちに共感でき、信頼される職員
- 充実した指導のために、学び続ける職員
- 他の職員と協力し、すぐに動ける職員

この記事に関するお問い合わせ先

かつらぎ町立梁瀬小学校

〒643-0611 和歌山県伊都郡かつらぎ町花園梁瀬 567-1

TEL・FAX:0737-26-0304

E-mail:yanase-essyo@katsuragicho-wky.ed.jp